

発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:2022年5月号掲載

おと にちじょう いろいろな音があふれる日常

わたしたち み まわ 私たちの身の回りには、たくさんの刺激があふれています。音の刺激もとても多いです。いまこの文章を読んでいるあなたの周りにも、いろいろな音があると思います。道路はし くるま おと を走る車の音、エアコンなど家電の音、近くの人がかでん おと ちか にん はなし が話をしてる声、いろいろな音に囲まれて私たちは生活しています。

せいかつ なか 生活の中であふれる音ですが、意識をしないと気づかない音も結構あります。普段わたし おと おな たちは、すべての音を同じように受け取るのではなく、必要な音に注目し選択的に聞くことができます。これを『カクテルパーティー効果』といいます。そのため、パーティーのようなざわざわとした環境でも、自分と話をしている人の声に注意を向けて会話することができます。自分に関係している言葉が聞こえた時に、急にその話し声をはっきりと聞こえるようになるのも、その声に注意を払うようになったからです。もし、パーティーの会場ですべての音を同じように受け取っていたら、きっと目の前の話の内容に集中できないのではないのでしょうか。

はったつしょう ひと なか 発達障がいの人の中には、この『カクテルパーティー効果』が起こりにくい人がいます。必要な音だけに注意を向けることが難しく、不要な音が気になってしまうのです。がっこう きょうしつ れい 学校の教室を例にしてみましょう。授業中は先生の話や、発表をしている友だちの話に注意を向ける必要があります。しかし、授業中には他にもさまざまな音があります。別うんどうじょう たいいく のクラスが運動場で体育をしていたり、リコーダーの練習をしていたりします。教室の中にも、児童のおしゃべり、エアコンの音や鉛筆で書く音などがあります。これらの音が、すべて気になってしまったら、本来聞くべき話に注意を向けるのはとても難しいですね。このような難しい状況の中で、がんばっている人が「ちゃんと話を聞け!」と怒られてしまったら、とてもつらいですね。

おと き かた かん かた ひと 音の聞こえ方、感じ方は人それぞれです。相手が聞き取りやすいようにするにはどうしたらよいかをみんなでかんが 考えられると、発達障がいの人を含む多くの人が生活しやすくなるのではないのでしょうか。